

第40回がん検診のあり方に関する検討会	資料 2
令和5年12月18日（月）	

第4期がん対策推進基本計画の課題整理について

厚生労働省

健康・生活衛生局がん・疾病対策課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

第4期がん対策推進基本計画の課題整理について

検討の背景

- 第38回「がん検診のあり方に関する検討会」において、「「がん検診のあり方に関する検討会」における議論の中間整理（令和元年度版）」において提示された課題に対する対応状況と、今後対応すべき課題について整理した上で、今後は第4期がん対策推進基本計画（以下「第4期基本計画」という。）の取り組むべき施策に沿った形で整理を行うことが確認された。
- 「第4期基本計画」の取り組むべき施策における評価指標と、取組及び今後の対応方針について整理した。

1. 受診率向上対策について
2. がん検診の精度管理等について
3. 科学的根拠に基づくがん検診の実施について

1. 受診率向上対策について
2. がん検診の精度管理等について
3. 科学的根拠に基づくがん検診の実施について

第4期がん対策推進基本計画

① 受診率向上対策について

取り組むべき施策	ロジックモデルにおける アウトプット指標	実施している取組及び対応方針
<p>国は、受診率向上に向けて、がん検診受診率をより正確かつ精緻に、また、個人単位で把握することができるよう検討する。</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働科学研究費補助金「がん検診受診率の妥当性評価のための研究」（令和5～7年度、研究代表者：中山 富雄） より正確かつ精緻ながん検診受診率の推計方法および個人単位での受診状況の把握に係る課題について検討
<p>国は、受診率向上に向けて、これまでの取組から得られた知見を踏まえつつ、より科学的かつ効率的な受診勧奨策を、関係学会や企業等の協力を得て、都道府県及び市町村と連携して推進する。また、全ての国民ががん検診を受診しやすい体制の整備に向け、保険者への財政上のインセンティブを活用したがん検診の推進、がん検診と特定健診の同時実施の推進、事業主健診時における市町村等で実施するがん検診の受診勧奨の推進、女性・障害者・非正規雇用者等が受診しやすい環境整備など、受診者の立場に立ったがん検診を受診する上での利便性の向上に努める。</p>	<p>受診勧奨実施市町村数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度がん検診の受診勧奨策等実行支援事業 後期高齢者支援金の加算・減算制度 「「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について」（令和5年8月16日）を发出 厚生労働科学研究費補助金「乳がん検診の受診率に関わる諸因子の解明と、受診率向上に向けた効果的な方策に資する研究」（令和5～7年度、研究代表者：鈴木 昭彦） 厚生労働科学研究費補助金「精神障害のある方に対するがん検診及びがん診療のアクセシビリティの向上に資する研究」（令和5～7年度、研究代表者：稲垣 正俊） 厚生労働科学研究費補助金「がん罹患前より障害があるがん患者に対する医療機関における適切な医療・支援の実装に資する研究」（令和5～7年度、研究代表者：八巻 知香子） 受診者の立場に立ったがん検診を受診する上での利便性の向上について検討

第4期がん対策推進基本計画

① 受診率向上対策について

取り組むべき施策	ロジックモデルにおける アウトプット指標	実施している取組及び対応方針
<p>市町村及び検診実施機関においては、受診者に分かりやすくがん検診を説明するなど、受診者が、がん検診の意義及び必要性を適切に理解できるよう努める。また、国は、指針に基づくがん検診の意義及び必要性について、国民が正しく理解できるよう普及啓発を行う。</p>	<p>普及啓発キャンペーンの実施状況（資料の実質配布枚数、イベント参加者数）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン月間 ・引き続き普及啓発を実施
<p>国は、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、感染症発生・まん延時等にごがん検診の提供体制を一時的に縮小した場合でも、状況に応じて速やかに提供体制及び受診行動を回復させることができるよう、平時における準備等の対応について検討する。</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究費補助金「新型コロナウイルス感染症の流行によるがん検診及びがん診療の受診状況等に対する中・長期的な健康影響の解明に向けた研究」（令和5～7年度、研究代表者：高橋 宏和） ・公衆衛生学的危機に対応しうるがん検診のあり方について検討
<p>国は、実施主体によらずがん検診を一体的に進めることができるよう、職域におけるがん検診について、実施状況の継続的な把握及び適切な実施に向けた課題の整理を行い、必要に応じて、その法的な位置付けも含め、がん検診全体の制度設計について検討する。</p>	<p>指針に基づく検診の実施率</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究費補助金「職域におけるレセプトを用いたがん検診精度管理指標の計測システムの開発と実装に関する研究」（令和4～6年度、研究代表者：祖父江 友孝） ・厚生労働科学研究費補助金「職域における科学的根拠に基づくがん検診の社会実装に関する研究」（令和5～7年度、研究代表者：立道 昌幸） ・職域におけるがん検診の実態把握及び適切な実施に向けた課題について検討 ・がん検診全体の制度設計について検討

1. 受診率向上対策について
2. がん検診の精度管理等について
3. 科学的根拠に基づくがん検診の実施について

第4期がん対策推進基本計画

②がん検診の精度管理等について

取り組むべき施策	ロジックモデルにおける アウトプット指標	実施している取組及び対応方針
<p>国は、レセプトやがん登録情報を活用したがん検診の精度管理について、技術的支援等を行う。</p>	<p>精度管理について技術的支援を行った市町村への支援数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究費補助金「がん登録を利用したがん検診の精度管理方法の検討のための研究」（令和5～7年度、研究代表者：松坂 方士） ・精度管理について自治体への技術的支援を行う
<p>精密検査受診率について、都道府県やがん種による差が大きくなっていることから、国は、市町村における適切な精度管理の実施のため、精密検査受診率の低い市町村の実態把握を行う仕組みについて検討するとともに、都道府県による指導・助言等の取組を推進する。市町村は、都道府県による指導・助言等を踏まえ、引き続き、指針に基づいたがん検診の実施及び精度管理の向上に取り組む。</p>	<p>精密検査受診率の低い市町村への指導・助言等の取組を実施した都道府県数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究費補助金「がん登録を利用したがん検診の精度管理方法の検討のための研究」（令和5～7年度、研究代表者：松坂 方士） ・厚生労働科学研究費補助金「がん検診の精度管理における指標の確立に関する研究」（令和3～5年度、研究代表者：高橋 宏和） ・継続的に運用できる精度管理体制について検討

第4期がん対策推進基本計画

②がん検診の精度管理等について

取り組むべき施策	ロジックモデルにおける アウトプット指標	実施している取組及び対応方針
<p>国は、職域におけるがん検診の実態把握に係る方法を検討した上で、職域におけるがん検診の精度管理を推進するための取組について、保険者に対する技術的支援や、産業保健総合支援センターを通じた事業場の産業保健スタッフに対する周知等を含め検討する。</p>	<p>要精密検査対象者への受診勧奨の実施割合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究費補助金「職域におけるレセプトを用いたがん検診精度管理指標の計測システムの開発と実装に関する研究」（令和4～6年度、研究代表者：祖父江 友孝） ・厚生労働科学研究費補助金「職域における科学的根拠に基づくがん検診の社会実装に関する研究」（令和5～7年度、研究代表者：立道 昌幸） ・職域におけるがん検診の実態把握（再掲）及び精度管理推進のための取組について検討
<p>国及び都道府県は、精密検査受診率向上のため、要精密検査とされた受診者に対する「精密検査を受けられる医療機関リスト」の提供等、職域を含めた、がん検診の実施者による分かりやすい情報提供を推進する。</p>	<p>がん検診の正しい情報提供を実施した市町村数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究費補助金「がん検診の精度管理における指標の確立に関する研究」（令和3～5年度、研究代表者：高橋 宏和） ・分かりやすい情報提供に資する方策について事務局より検討会に提示予定検討を実施

1. 受診率向上対策について
2. がん検診の精度管理等について
3. 科学的根拠に基づくがん検診の実施について

第4期がん対策推進基本計画

③科学的根拠に基づくがん検診の実施について

取り組むべき施策	ロジックモデルにおける アウトプット指標	実施している取組及び対応方針
<p>国は、我が国におけるがん検診の進捗及び課題を整理するため、諸外国における取組との経年的な比較調査を実施する仕組みについて検討する。</p>	<p>－</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究費補助金「がん統計を活用した、諸外国とのデータ比較に基づく日本のがん対策の評価」（令和5～7年度、研究代表者：松田智大） ・わが国におけるがん検診を諸外国と経年的に比較する仕組みについて検討
<p>国は、より効率的・効果的ながん検診の実施を推進する観点から、指針に基づくがん検診の科学的根拠に基づいた効果検証を進めるとともに、対策型検診の項目の導入に係るプロセスの明確化等について検討する。</p>	<p>指針の遵守市町村数・指針に基づかない検診の中止市町村数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指針に基づくがん検診の効果検証及び項目の導入に係るプロセスについて課題を整理し検討を行う
<p>国は、指針に基づかないがん検診に係る効果検証の方法について検討するとともに、指針に基づかないがん検診の効果検証を希望する関係学会や企業等と、地方公共団体のマッチングを促進する仕組みについて検討する。</p>	<p>－</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指針に基づかないがん検診に係る効果検証の方法及び効果検証のためのマッチングの仕組みについて課題を整理し検討を行う
<p>国は、我が国における組織型検診の構築に向け、科学的根拠に基づくがん検診の実施に向けた取組により精度管理を向上させつつ、課題を整理し、その対応を検討する。</p>	<p>－</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組織型検診について課題を整理し検討を行う